



全日本高校模擬国連大会報告

NO.79

高2 双川君・高1 持田君が優秀賞獲得 来年5月NYでの国際大会出場へ

11月16日(土)～17日(日)に江東区の東京ビッグサイトタイム24ビルで全日本高校模擬国連大会が開催されました。全国から書類審査を通過した86チーム172名が集結し、2議場に別れて「死刑モラトリアム」というテーマで議論を交わしました。模擬国連とは2人でペアを組みある国の大使に成り切り、自国の利益を守りつつ、より良い世界を作っていくために多くの国と交渉をして合意を形成していく活動です。書類審査は1校から2チームしか応募できません。従って本校の場合は例年校内選考も実施しております。本校の校内選考を通過したAチーム(高校2年5組双川凜生君・高校1年6組持田隼人君)とBチーム(高校2年8組小沢原輝君、高校1年1組野中浩伸君)が見事書類選考を通過し、今回の全国大会出場となりました。Aチームはチリ大使、Bチームはスイス大使として会議に参加しました。2日間の会議終了後に表彰式が行われ、各議場より最優秀賞1チーム、優秀賞2チーム、地域特別賞(これまで国際大会へ派遣されたことのない都道府県に所在する学校)1チームが発表されました。チリ大使を務めた本校Aチームの双川君・持田君が見事優秀賞を獲得し、来年5月5日(火)～11日(月)にアメリカニューヨークで開催される高校模擬国連国際大会へ日本代表派遣団の一員として参加することになっています。Bチームの小沢君・野中君は惜しくも受賞はなりませんでした。会議中の非公式討議で賛同国の輪の中心で議論を引っ張る場面も数多くあり、活躍しておりました。以下、各チームから原稿を寄せてもらいましたのでご一読いただければ幸いです。

Aチーム チリ大使 高校2年5組 双川凜生・高校1年6組 持田隼人

今回、私たちはチリの代表として、死刑モラトリアムについて話し合う会議に参加しました。チリは死刑に対して特殊な立場をとっており、2001年に刑法では死刑を廃止しつつも軍法では死刑制度の残しているという特徴があります。今回の会議では一部廃止国という立場で、より多くの国が合意できるような決議案形成を行おうと考えていました。

当日の会議では、私たちがほかに形成されたグループの人たちとの交渉を主導することができ、議場全体の把握を行うとともに、どのような形であれば国際的な合意が採れるか、具体的な道筋などを描くことができました。

初日にはチリと同様に一部死刑を廃止している国や、死刑モラトリアムを導入している国々で一つのグループを形成しました。グループ内の意見を取りまとめるのに苦労しつつも、1日目の最後に提出された作業文書をその夜にしっかりと分析し、2日目に生かすことができました。具体的には、ほかの作業文書と自分たちのものを照合させ、2日目の交渉で合意に至れそうな部分を精査することや、対立点を探して妥協点を考えることなど行いました。自分たちの作業内容をもとに資料を作り、2日目の最初に他のグループメンバーに配布し、考えていることを共有するとともにそのあとの会議方針を決めました。

また、グループ内での議論の主導を行い、自国の意見を反映した決議案を作成するとともに、死

刑廃止派と存置派の間でも協力できるようにグループ間交渉も積極的に行いました。自分のグループの意見をグループ間交渉を行っているペアに共有しつつ、交渉を行ったうえで入ってきた意見をグループ内で再度取りまとめるという複合的な作業が多くありましたが、ペアの間でしっかりとコミュニケーションをとり、意見の集約を行うことができました。

最終的に議場には死刑存置派と廃止派の2つの決議案が提出され、私たちチリは廃止派の決議案の執筆を担当し、提出国となりました。投票の結果としては存置派の決議案が採択に必要な賛成票をえることができなかった一方、私たちの廃止派のものは十分な賛成票を獲得することができ、採択されました。全国大会の決議案の提出国とまたそれが採択されたことを非常に誇りに思うと同時に、自分たちの事前準備が報われたな、と感じました。

結果として優秀賞をいただくこととなりましたが、これは私たちの交渉や調整を手伝ってくださった多くの大使の力添えあってのことだと思います。この賞の重さをかみしめて、来年5月の国際大会に臨みたいと思います。

最後に、今回の全国大会出場に当たり書類選考の段階からお手伝いいただきました多くの先生方に感謝します。ありがとうございました。今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



向かって左
Aチーム
チリ大使
双川君・持田君

向かって右
Bチーム
スイス大使
小沢君・野中君

Bチーム スイス大使 高校2年8組 小沢原輝

全日本高校模擬国連大会にスイス大使として参加させていただいた高2の小沢です。私はコミュニケーションをとることを以前より苦手にしており、この部活に入った大きな理由は、この苦手な部分を変えたいと思った事でした。

この大会に向けての目標は、できるだけ積極的に話し、グループに貢献するというものでした。会議一日目は、他の優秀な参加者達に恐縮しながらも積極的に行動し、パートナーと協力しながらもなんとかグループをまとめることができました。しかし、二日目では自分のグループの中で会議

の成果文書である「決議案」を作れる人がいなく、主としてパソコンに向かって決議案を書く事に専念していました。他の出場者が雑談している間も会話に加わず、正に提出期限まで書いていました。私の目標とする、「人と向かっていく」はずが、パソコンに向かっていました。グループに貢献したいという目的と成果文書を書くという手段をはき違えていたのだと思います。

この会議を通じて言えることが一つあります。それは、「自分の全力を尽くせた」、ということです。もちろん結果は完璧とは程遠いですし、振り返ると失敗・反省点だらけです。ですが、できることはすべてやった、「成果文書作成は自分が一番やった」と胸を張って言えます。内気な私だからこその特性で貢献できたと思います。グループの「縁の下の力持ち」になれたかな？と思います。

結果的にもらえた賞は参加賞で、とても悔しい思いをしました。ですが、大会を通じて優秀な人たちから様々な事を学ぶことが出来、非常に貴重な体験が出来たと思います。大会を通じて自分の新たな一面を発見でき、自信を持てるようになりました。特に力不足だったコミュカを少し磨けたかと思います。

自分を内向的だと思っていたとしても、自分を変えたいと思う方・自信をつけたい方・自分の限界に挑戦してみたい方は、ぜひグローバル部に入部して、模擬国連大会参加を目指して下さい。後悔はしないですよ。最後に、ご引率いただきました先生方、関係者の皆様、グローバル部の皆さん、本当にありがとうございました。

Bチーム スイス大使 高校1年1組 野中浩伸

同じくスイス大使としてこの会議に参加した高校1年の野中です。

この大会は、書類選考を通過した精鋭たちが全国から参加するレベルの高い会議です。そのような会議に自分が参加できたことを我ながら誇らしく思っています。

いざ会議が始まると、各々の大使が積極的に発言し、活発な議論が繰り広げられました。その様子に当初は圧倒されましたが、議論に貢献できる会議行動をとるべく最大限に努力しました。特に、自分がこれまでの会議で発揮してきた強みである「多様な意見をまとめる力」と「噛み砕いて分かりやすく説明する力」を意識し、グループのメンバー全員が議論に参加できるように尽力しました。

しかしながら、強力なリーダーシップと卓越した論理的思考力を兼ね備えた他国の大使の前に、自分の強みは霞んでしまい、自分の力を十分に発揮できたとはいえない結果となり、とても悔しい思いをしました。

全体の調和を重んじる自分の議論スタイルを大事にしたいと思いつつも、主体的に会議を引っ張っていくなど、さらに高みを目指すための改善点や課題が明らかになった会議でした。この気づきは、今後自分をさらに成長させるための糧となります。

全国大会の場に立ち、このような貴重な経験を得ることができたのは、ペアの小沢先輩をはじめとするグローバル部の方々や顧問の先生方のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。



Aチーム表彰式



Bチーム非公式討議

海外プログラム紹介（対象学年はプログラムにより異なります）

*以下ご紹介する企画は本校が主催するものではありませんので、お問い合わせや申し込みは各ご家庭から主催団体へ直接ご連絡下さいますようお願い致します。主催団体からパンフレットが届いておりますので差し上げることができます。希望者は2号館2階グローバル教育部までどうぞ。

①格差と環境問題をバリ島で考えてみる課題探求・解決スタディツアー7日間

観光地として有名なバリ島ですが、バリ島が抱える社会課題のリアルな現場とその解決を目指して活動する企業・NGOの現場を見学し、最終日には自分が解決したい課題とその解決策についてプレゼンテーションを実施します。

期間：2020年3月25日（水）～31日（火）

目的地：インドネシア・バリ島

対象：中3～高2（中2でも応相談とのこと）20名

締切：12月13日（金）

費用：239,800円＋燃油サーチャージ代金

主催：阪急交通社 こちらのQRコードからも情報が見られます。



②FLYボストンプログラム

本プログラムの目的はDivergent Thinking。自由な発想を無限にめぐらせ、人生の選択肢の多様性や創造性を追求します。

期間：2020年3月26日（木）～4月3日（金）

目的地：アメリカ・マサチューセッツ州・ボストン

対象：中3～高1 22名

締切：2020年1月20日 12月8日（日）から土日を使い数回説明会を実施

費用：528,000円＋燃油サーチャージ代金

主催：ISA